第51号

調布市文化協会
調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F
URL：http://www.chofushibunkakyokai.jp
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

絆で結ばれる調布の文化

（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団
コミュニケーション課課長　徳　永　孝　正

私は前職在籍中におきまして、「新選組フェスタ」や「木島平村との文化交流」など、調布市文化協会の皆様には大変お世話になり、現職に就いた際にも、調布市の芸術・文化を醸成するセクションとしての責任を感じるとともに、顔見知りの皆様と調布の未来を語ることができる喜びと安心感を覚えました。

ここで、着任にあたり、私ども、財団のアピールの場として、大切な紙面を借用させていただきます。

この4月より当財団は、新たに策定したミッションに基づいて組織を改正し、これまでの2課体制を4課体制とし、それぞれのセクションでの役割を明確化することとなりました。私は、新設の「コミュニケーション課」と「たづくり事業課」を任されております。

「たづくり事業課」はくすのきホール等を含め、主に文化会館たづくりで実施する事業を所管しています。次に、新たに設けました「コミュニケーション課」は、当財団における事業の周知や認知度の向上などに関することを所管する部門と市民文化祭をはじめ、調布よさこいや調布映画祭など全市的事業を所管する部門となります。私は当財団のいわゆる営業マンとして私どもが行っている事業を知っていただこう。そして、財団の認知度を高めようと日々仲間とともに励んでいるところです。

私はこのことが、調布市基本計画にも謳われております「調布らしい芸術・歴史文化が身近に感じられ、新たな世代に受け継がれていくまち」が形成されることとなる一歩であると確信し、今後の調布市の芸術・文化の振興を調布市文化協会の皆様と私どもが両輪となって推進し、次世代へつなげていくことができればと感じております。

今後におきましても、長い歴史をお持ちである調布市文化協会の皆様のご協力を賜りながら、歩ませていただき、留まることなく一歩一歩着実に調布市の芸術・文化の振興に努めて参ります。

ともに、手を携え、「調布の文化の絆」を深めさせていただければ幸甚です。

「コミュニケーション課」と、従来の「事業課」の課長（兼務）に徳永孝正氏が就任されました。

徳永氏は以前文化協会所管の生活文化スポーツ部で当協会の担当・窓口としてご尽力いただき、中でも文化協会室への迅速なコピー機設置の行動は、当協会を理解しその必要性を確認してのことでした。その熱くご尽力いただいた思いを胸に、今度は秋の調布市民文化祭に向け徳永氏との共働作業が開始されました。

調布市文化協会会長　高岡　宮子

ひたちなか市文化協会との交流・懇談会

調布市文化協会庶務　吉田　正夫

平成25年3月2日調布市文化会館たづくりの1001学習室において調布市文化協会とひたちなか市文化協会との交流懇談会が行われました。今回の交流会は東日本大震災で被災され、一度交流のあった、ひたちなか市文化協会に義援金をお送りした事に感謝されそのお礼の為に訪問され今回の交流・懇談会となりました。

交流・懇親会は調布市文化協会から8人、ひたちなか市文化協会から35人の方々が出席され加藤副会長の司会進行で行なわれました。

冒頭、高岡会長が挨拶され調布市文化協会の歴史と組織、文化活動の内容そして深大寺や映画の町として有名な調布をアピールされました。

続いてひたちなか市文化協会会長槇　和美氏が挨拶され、ひたちなか市の文化協会は平成8年に設立、現在19の団体が所属しており運営は市からの補助金で賄われている事、そして今回頂いた心温まる義援金に対して深い感謝と御礼の言葉を述べられました。

次に調布市文化協会会員の自己紹介とひたちなか市文化協会会員の氏名と所属団体名が紹介されました。

茨城県磯節保存会会長福田佑子氏の三味線による「磯節」の演奏が行われ皆さんの拍手で会の雰囲気がすっかり和やかになりました。

質疑・応答では両文化協会から活発な質問や応答があり瞬く間に時間となりました。ひたちなか市文化協会の副会長からは両文化協会の会長が女性である事は底力があり非常に素晴らしい事であると述べられました。最後に調布市文化協会の岳野勝治氏の閉会のことばとなり相互に実りある有意義な交流・懇親会が予定通り終了しました。

第23回「木島平村芸術文化協会との文化交流」参加者募集

調布市文化協会と木島平村芸術文化協会との姉妹都市文化交流事業の一環として、木島平村の第29回夏祭り「盆踊り」に参加し、木島平村芸術文化協会との「交流会」を行い相互の親睦を深めるものです。

日　時　平成25年8月10日(土)11日(日)
宿泊先　パノラマランド木島平
☎〇二六九―八二―三〇〇一
費　用　一四,〇〇〇円(宿泊費、昼食2回、交流会費、保険、見学料等)
申込先　所属団体又は文化協会事務局

2013（平成25）年度
調布市文化協会第47回定期総会

日　時　2013年4月26日（金）18時～
会　場　調布市文化会館たづくり12階大会議場
出席者　84人　欠席　1人
委任状　7人　　（構成員92人）
議　長　粕谷　和子氏（書道連盟）

第47回定期総会開催される

第47回定期総会が標記の通りに開催されました。

恒例の通り高岡会長挨拶に始まり、ご来賓を代表して長友市長及び伊藤　学市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に書道連盟の粕谷和子氏、書記に三曲協会の田代せつ子氏が指名され、議事に入りました。

第１号議案　24年度事業報告

第２号議案　24年度一般会計決算報告及び会計監査報告が行われ、それぞれ承認されました。

第３号議案　25年度事業計画（案）

第４号議案　25年度一般会計予算（案）が審議され、いずれも異議なく承認されました。

調布市文化協会役員

任期
平成二十六年三月三十一日まで

［会長］
高岡　宮子（フラワーデザイン協会）

［副会長］
加藤　弘子（民謡舞踊好友会）
山野　裕（エスペラント会）

［副会長補佐］
岳野　勝治（奇術協会）

［事務局長］
小川美代子（書道連盟）

［会計］
山岸　直子（ハワイアンフラ協会）
田代せつ子（三曲協会）

［庶務］
吉田　正夫（調布映像協会）
今中　秀昌（将棋連盟）

［会計監査］
齋藤　一正（歌謡同好会連盟）
山根　久幸（演劇協会）

第58回調布市民文化祭のご案内

第一回市民文化祭の実行委員会が5月17日（金）に開催されました。

開催期間　10月17日（木）～11月17日（日）

「発表部門　21団体」「展示部門　8団体」の発表が順次行われます。

今回のテーマ

「高めよう文化の心　広げよう文化の輪」

10月17日（木）開会式・アトラクションとして東京大衆歌謡楽団（3人兄弟）による昭和歌謡を唄うが行われ、文化祭プラザ（文化祭ＰＲ）は、10月19日（土）20日（日）に開催。

・市役所前庭では、囲碁や将棋の自由対局、たづくり東側広場では、コーヒー販売や工芸の実技コーナー、野外ライブではフラダンス、吹奏楽演奏会、カラオケ大会（参加自由）が行われます。

「地域文化祭」

10月26日（土）～11月3日（祝）の間、東部・西部・北部公民館を中心に開催されます。

犬山市文化協会との研修交流を終えて

調布市文化協会副会長　山野　裕

曇空ながら南アルプス、中央アルプスの雪を頂く山々を眺めながら中央高速自動車道を快調に走り続けました。

犬山市は愛知県北部に位置し、木曽川をはさんで岐阜県と接しており犬山城の城下町として栄え、人口は7万5千人程です。

到着後犬山市民健康館さら・さくら館で昼食後館内の交流センターで犬山市文化協会吉野会長他9名の方々と交流会を持ちました。

犬山文化協会は加盟55団体・会員数768名で、美術部・芸能部・文芸部・茶華道部に分れており文芸まつり・市民芸能祭・市民茶会等々年間を通して活動されているようです。

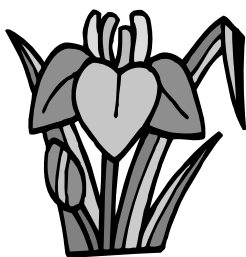
共通の問題として行政との関係活動資金、会員の高齢化や新会員の確保など話合いました。その他文化広報誌「文協いぬやまし」を企業の資金協力を得て、市内全戸に年2回配布しているとか、又、文芸部は文芸誌「ひとつばたご」を毎月発行し、俳句や短歌を発表しています。…ひとつばたご…は「なんじゃもんじゃ」とも言い、犬山市一帯に自生する白い花を咲かす樹木で、深大寺にも存在し、どこかつながりを感じました。

交流会を終って、雨の中でしたが、日本最古の国宝・犬山城天守閣に登り、夜は犬山温泉犬山館で会員同士の親睦を深めあいました。

翌日は雨も上がり、明治村で当時の建造物が移築・保存されているのを見学し、当時の時代に想いを馳せゆったりとした気分に浸りました。その後は名古屋城に立寄り東名高速道路をひたすら走るバスの中で前日からの出来事を想い浮べながら帰って来ました。

5月19日（日）・20日（月）文化協会員30名が、調布市のバスで愛知県犬山市文化協会との研修交流に出発致しました。

（交流会：於　犬山市「さら・さくら館」）

（集合写真：木曽川のほとり）

―研修交流に参加して―

犬山市文化協会との研修交流会に参加して

調布市民謡舞踊好友会
大野　真理子

名古屋市の北にある犬山市文化協会との研修交流にむけて５月19日朝、調布市文化協会の皆さんを乗せたバスは、中央高速道を快調に走り正午前には、緑の山に囲まれた自然豊かな地に建つ「さら・さくら交流ホール」に到着致しました。

昼食後ホールでお互いの活動内容の報告・質疑応答が熱心に行われました。

そのホールは大きな円形で中心の天井より沢山のライトが四方を照らす素敵な会議場でした。（皇居の吹上御所を設計した方の作とか）、夕方激しく降る雨の中お互いの文化協会の益々の発展と協力を約束し研修交流は終りました。

翌日立寄った明治村では犬山市の文集のタイトル「ひとつばたご」の白い花が満開でした。

（明治村：帝国ホテル）

研修交流に参加して

ハワイアンフラ協会
岡島　サツ子

５月19、20日、私は犬山市文化協会の研修交流に参加しました。バスは30名の参加者を乗せ調布を出発。バスでは和気あいあいの中、一人一人の自己紹介をしました。窓から見える山々は日頃の疲れを癒してくれました。

最初の文化協会の方々との交流会では、活動内容等の報告と意見交換を行いました。その後、バスはあいにくの雨の中一路国宝犬山城へ。一番感動したのは、急な階段の先の素敵な景色でした。

２日目は明治村へ。広大な敷地にある国の重要文化財を見て回りました。最後の名古屋城は焼失から美しく復元されており、その姿は一生心に残るものとなりました。

最後に役員及び参加者の皆様有意義な時間有難うございました。

（犬山祭山車）

実技講座

デジカメ＆ビデオ初級講座

調布映像協会　黒澤　眞

今年のデジカメ＆ビデオ初級講座は４月16・17日の２日間開催しました。20名を超す多くの方が参加しました。

最近写真撮影には携帯電話やスマホ又は一眼レフ等を使う人が増えてきましたがやはり行楽や記念行事には簡単に撮影出来るデジカメの人気は衰えず多くの人達が利用しています。

しかし最近発売のデジカメは高機能化が進み取扱説明書を見ても使い方が良く分からないと云う人も多く折角カメラを買ってもそのまま放置している初心者が大勢います。

講習会ではそんな人達を対象にカメラを買った時に最初に行う設定や撮影した写真の確認等から始まって、特に初心者が苦手とする手振れ防止、半押しのピント合せを重点的に学習しました。

今年も簡単な野外でのミニ撮影会を行い、外の景色や講習参加者同士の人物撮影を行いましたので更に理解が深まったと思います。

又パソコンを使用して撮影した写真をパソコンに取込みアルバム作りや簡単な修正作業も行いましたが、デジカメ対応のパソコン教室開催の要望が沢山出ました。

「銅版画の歴史と技法」

調布市美術協会　小沢キミコ

私たちの身近にある紙幣は、銅版画印刷であることをご存知ですか。

今回の講座は、銅版画の歴史とその技法を、去る５月15日２時より、映像シアターに於いて、約50名の参加者で開催されました。

講師は、調布市美術協会会員の植村峻氏です。同氏は、大蔵省印刷局の要職を歴任し、現在は紙幣・紙幣印刷研究家として活躍されています。

講座は、スクリーン映像を介して講師の解説で進行されました。

①「各種の印刷方式」直刻方式、腐食方式等
②「銅版画の歴史」ヨーロッパでの木版画から銅版画普及の歴史
③「芸術としての銅版画の普及」
④「紙幣印刷に活用」偽造防止効果を期待した精緻な肖像彫刻と印刷
⑤「銅版画作品の収集」手軽に銅版画作品を楽しむための収集
⑥「銅版画制作・その魅力は」制作に必要な道具、機械
⑦「日本に於ける銅版画の歴史」キリシタン伝道師と共に模刻が渡来？　司馬江漢の銅版画制作（一七八三〜）

講座は以上の流れに沿って解説され、同時に、映像の実物大の紙幣・切手等銅版画作品を手に触れての鑑賞も出来ました。

講師が苦労して蒐集された貴重な作品の数々です。

今講座のために講師が、制作した銅版画作品の紹介もありました。

２時間の講座は、魅力ある映像と解説で終始し、参加者の満足な笑顔と拍手で終了しました。

実技講座

将棋初級実技講座

調布市将棋連盟　大泉　紘一

去る五月十八日・二十五日・六月一日の三日間で掲題の講座を、「たづくり会館」で開催しました。時期は昨年に準じていますが、対象を女性から小学校児童に変えました。女性への普及が遅れているとは言え、少しは将棋をご存知の女性が多かった昨年とは対照的に、将棋というゲームを全く知らない子供が相手です。指導陣も、昨年は女子プロをお招きしましたが、今年は「将棋を知らない人がターゲット」ですので地元の普及指導員（日本将棋連盟公認アマ指導者）四名が指導に当りました。指導内容も昨年は「少し将棋を知っている人が面白さを理解する」ことが主眼でしたが、今年は「とにかくゲームが出来るようになる」ことに照準を合せました。

十二名の申し込みがあり、初日は十一名が顔を揃えました。予想通り「少しでも指せる」子供が二人だけで、後はルールや駒の動きからの説明が必要でした。指導陣のうち一人は実際の対局をし、他の指導者は基礎からの説明を手分けして行いました。子供は覚えるのが早いと言いますが、その進歩の速さに指導陣もびっくり。

二日目は参加者の過半数が対局できるようになり、最終日の六月一日は十名全員が対局や普通の初心者と同様の詰め将棋まで進み当初の目的を達成しました。

反省点は五月は学校行事が多く参加しにくい児童も有ったため、次回から工夫が必要と思いました。また、子供は二時間の講座に集中出来ずこれも要検討事項です。

楽しく歌うための発声と歌の講座

調布市音楽連盟　鈴木　勝雄

「いつも台所で童謡など口ずさんでいて、歌が大好きなんですよ」「調狛の演奏会を聴きに行った事もあり、一度歌いたかったんです」「体を動かして歌ったらポカポカして楽しくなってきました」等々、参加者のご感想です。

2ヶ月前から宣伝開始、当日は合唱団5名一般参加者15名と目標達成！　講座内容は、腹式呼吸で「明るい顔でいい匂いを嗅ぐようにして、鼻腔を空けてブレスしましょう」「今日の日が楽しかった」とウキウキして帰れるように手や腕を伸ばしながら「手のひらを太陽に」2曲目をアメージング・グレース、「讃美歌歌集にも載ってますよ」と参加者の声。まず「英語で歌いましょう」とカタカナの楽譜で発音から読み合わせ・英語で数回歌いました。英語の得意な参加者もいて、心強く安心して歌えました。また、日本語訳楽譜も用意しました。

3曲目、手や腕を伸ばしながらビリーブ、皆さん曲を知っていて2回ほどメロディーを伸び伸びと歌い、後半の「今・未来のとびらをあけるとき」から手話をマスター、あっと言う間に時間が過ぎ、参加者の皆さんと自己紹介、「歌うチャンスがあればサークルに入って歌いたい」のお声が多くありました。講座を開いてほんとうに良かったです。文化協会・音楽連盟の皆さんのご協力、ほんとうに有難う御座いました。

おめでとう 調布工芸美術協会創立四十周年記念

「調布工芸美術協会展」
5月13日(月)～19日(日)
たづくり南ギャラリー

「創立40周年記念式典祝賀会」
5月15日(水)12階大会議場

調布工芸美術協会創立40周年式典が挙行され、長友調布市長、高岡文化協会会長のお祝いの辞が寄せられ又、記念式典では、調布工芸美術協会に尽力された方に大山会長より感謝状が贈られました。

25年度後半 実技講座実施予定

初心者のための詩吟講座
調布市吟剣詩舞道連盟
25年10月5日(土)・10月12日(土)
10月19日(土)
時間　13時30分～16時

大正琴実技講座
調布市大正琴連盟
25年11月17日(日)・11月24日(日)
時間　13時30分～15時30分

民謡舞踊初心者講習会
調布市民謡舞踊好友会
25年12月5日(木)・12月6日(金)
時間　10時～12時

フラダンス男・女初心者講習会
調布市ハワイアンフラ協会
25年12月7日(土)・12月8日(日)
時間　13時30分～15時30分

調布よさこい二〇一三
＊平成25年9月1日(日)
民謡舞踊好友会参加
＊流し踊り
旧甲州街道・調布～布田間
＊定点踊り
布多天神社
ハッピーまつり会場
＊出店
蓮慶寺前参道会場
上布田ご縁の市会場
ハッピーまつり会場
布多天神会場
＊文化協会は模擬店の「かき氷」一杯二百円、蓮慶寺前参道会場で実施

「調布市長と語る文化懇談会のお知らせ」

調布市長と語る文化懇談会が平成25年7月29日（月）の午後6時から8時まで文化会館たづくりの六〇一、六〇二学習室で行われます。市長との懇談会は日頃皆さんが思われている事をざっくばらんにお話出来る良い機会です。又、調布市の文化活動についてご意見のある方はぜひ所属の理事までにお話ししておいて下さい。

訃　報

長らく将棋連盟と文化協会の為にご盡力された、調布市将棋連盟会長・宇都宮　靖彦氏が5月26日逝去されました。つつしんでご冥福をお祈り致します。

（享年78才）

編集後記

第51号会報誌作成に当り、原稿依頼文書の数字に誤りがあり、皆さま方に多大のご迷惑をおかけ致しましたことを謹んでお詫び致します。

京王線地下化後、調布駅前周辺は、急ピッチで整備作業が進められており出来上りが楽しみです。

不順な天候が続き体調管理が難しいこの頃です。第47回定期総会も皆様方の御協力で予定通り無事に終了致しました。

（岳野・吉田）

※犬山市文化協会関係の写真は、写真連盟の前田　豊氏より提供を頂きました。